

聴き方練習「うめうめ」シート ガイド

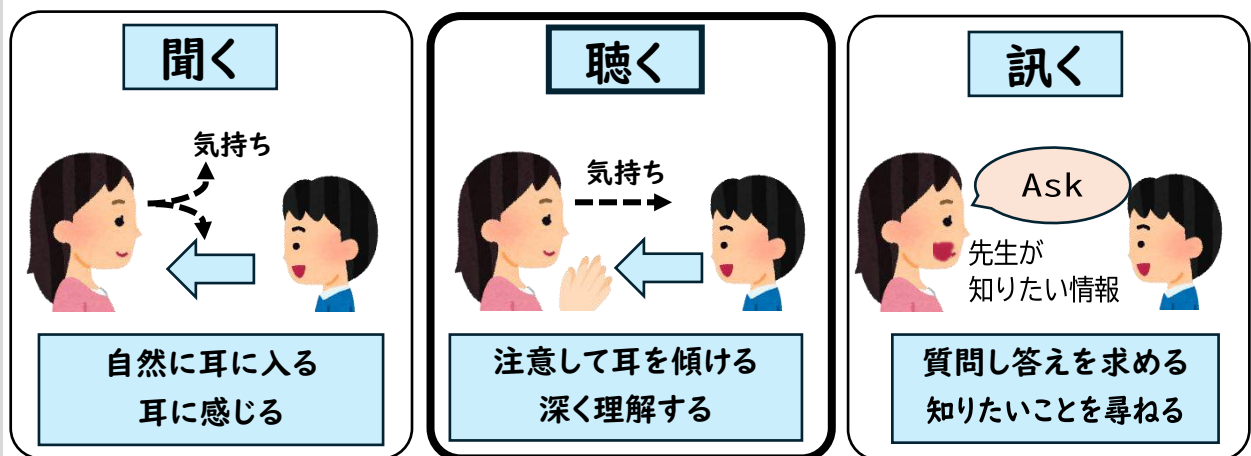
同じ相談内容に対して2通りの聴き方を体験し、非言語コミュニケーションが話し手に与える影響を理解します。



まずは、AとBの聴き方を体験してみましょう！

生徒役として「真剣にきいてもらえた」と感じたのは、AとBのどちらの聴き方でしたか？

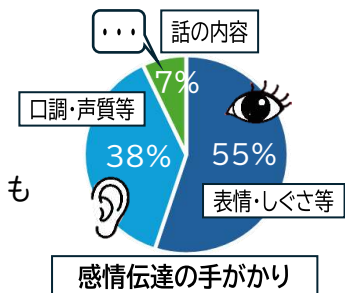
同じ「きく」でもいろいろ。あなたの「きく」はどれ？



さらに

コミュニケーションの場面では、表情や仕草、口調など「非言語」が大きな割合を占めます。

耳を傾けることはもちろん、「非言語コミュニケーション」も意識しましょう。



教師の振舞い（非言語によるコミュニケーション）

- ①視線 目のやり場がないと話しにくいことも。座席配置も考えて(P6)。
- ②姿勢 腕組みや椅子の背にもたれると威圧的な感じに…。
- ③仕草 うなずきは相手の話を促し、語ることを支え励まします。
辛い話には静かに、うれしい報告には大きく、うなずき方も様々。
- ④表情 無表情、眉間にしわを寄せるなどは、無用な緊張感を与えます。
- ⑤声の調子 最初は相手の声のトーンやテンポ、ボリュームに合わせることを意識して話し始めるとよいでしょう。